

なみ 12号

プールでの学習が始まりました

先週は真夏の太陽が照り付ける暑い1週間になり、延び延びになっていた水泳の学習を始めることができました。低学年は小プールで、中・高学年は20cm水位を下げた大プールで、まずはプールの安全な使い方を確認した後、水慣れやゲーム、できる泳ぎ方に挑戦するなどして、今年のプールでの学習を始めました。

6月5日の『なみ10号』でもお知らせしたとおり、水泳学習で重要なのは、子ども達の安全を確保しながら学習を進めることです。学校では水位や監視、人数確認や授業の進め方の工夫等、校内で確認した留意点に基づき、安全面に注意を払いながら授業を進めています。保護者の皆様にはすぐーの『明日の朝の健康調査のお願い』でご協力いただいております。今後も水泳授業実施の前日の17:00頃に、対象学年にすぐーアンケートを配信しますので、引き続きご協力ください。

週間予報によると今週からまた雨の日が多くなるようですが、朝、雨が降っていても、条件が整えば授業を実施する場合があります。また、気温、水温とも高すぎる場合には、熱中症予防のため授業を中止する場合があります。ご了承ください。

絆と学びを深めました 人権合宿

6月12、13日に、高知県立青少年センターで人権合宿を行いました。人権合宿の主な目的は、「様々な人権問題について理解を深める」「友情を深め、協調や規律の精神を身に付ける」です。

あいにくの空模様でしたが、ほとんど雨の影響を受けることなく、野外炊飯、人権学習、キャンドルの集い、心の冒険プログラム、ポイントオリエンテーリングと、盛りだくさんのメニューで絆と学習を深めました。

講師の先生には、「仲間づくり」をテーマに、学校や若竹会での経験をお話していただきました。お話を受けてグループでじっくり話し合い、学んだことをまとめ発表しました。発表を聞きに青少年センターにお越しいただいた保護者のみなさま、ありがとうございました。楽しく学んだ2日間を写真で振り返ります。



わたしがすき
なかまがすき
ふるさがすき

